



天まで上がれ!

たこ上げ大会—東郷幼稚園



天まで上がれ!

東郷幼稚園恒例のたこ上げ大会が、1月16日、町総合グラウンドで行われました。

園児たちは、思い思いの絵を書いたジャンボだこを、空高く舞い上げていました。

昭和61年 2月号 第414号

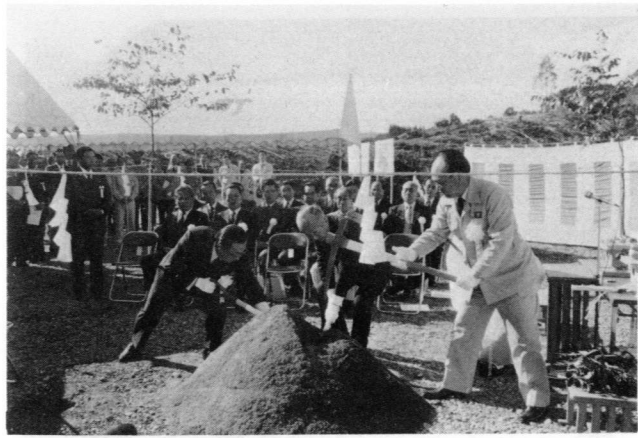
発行/宮崎県東郷町役場・編集/企画財政課

うらうらと照れる光にけぶりあひて
咲きしづもれる山ざくら花
牧 水

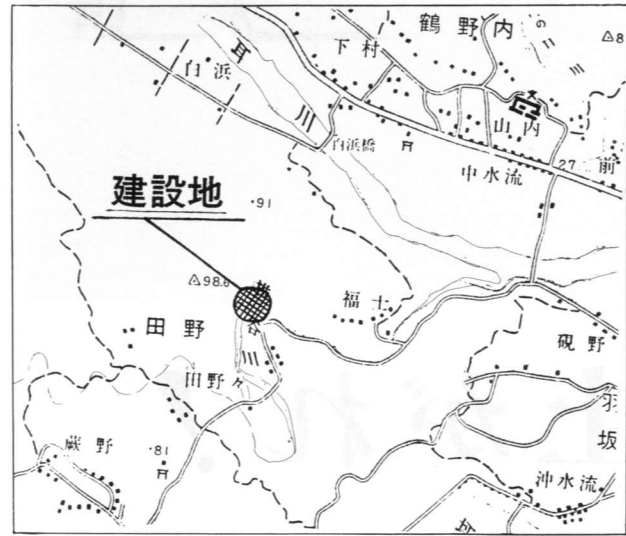
国産材流通加工施設を誘致

昭和62年度から操業

耳川地域における県産材の流通から加工まで行う、国産材流通加工施設の起工式が、一月十七日、松形知事など関係者百六十名が出席して建設地の田野で行われました。



▲知事を迎えて行われた起工式



この事業は、耳川林業事業協同組合が六十年から六十二年の三ヶ年計画で、土地造成、集材加工施設、幅はぎ板加工施設、管理棟など、国の補助を受け建設するものです。

耳川林業事業協同組合は、昨年八月耳川地域が国(林野庁)の国産材供給体制整備事業の対象地域の指定(全国で十四ヶ所)を受け設立したもので、日向市など八市町村の森林組合と十七

製材業者で構成されています。全体計画では、総事業費が九億二千万円で、内訳は、
 ①国産材主産地形成推進活動事業……千六百万円
 ②国産材流通加工施設整備事業……五億二千八百万円
 ③林業生産基盤整備事業(市町村)……三億七千六百万円
 と、なっています。
 施設は、三万二千平方メートルの敷地に、集材加工施設三棟(二千七百八十平方メートル)、幅はぎ加工施設三棟(九百三十平方メートル)製品保管倉庫一棟(五百平方メートル)管理棟一棟(二百六十平方メートル)が建設されることになっています。
 この事業の立地により、膨大な森林資源をもつ耳川地域における林業の振興が図られることはもとより、低迷を続ける本町の林業活性化に大きな役割を果たすと共に、雇用の場の拡大につながると思います。
 町では、昨年十月から用地取得を行ってまいりましたが、この事業のために物心両面のご協力をいただいた関係者の方々に對しまして、心よりお礼を申し上げます。

牧水歌碑建設 募金に対する お礼

牧水誕生百年祭記念事業の歌碑建設のための募金につきましては、町民各位のご理解とご協力によりまして多大の実績をあげることができました。
 歌碑建設も順調に進み、役場前に十月二十二日完成し、二十四日の生誕祭に除幕式が盛會裡に終了することができました。
 ご協力に對し衷心より厚く御礼申し上げます。

ご協力の募金については、次のとおり結果を報告いたしますが、使途については、実行委員会で承認を受けることになりましたのでご了承ください。

- 町内募金達成額 二、三二六、四四四円 (目標額 三、〇〇五、〇〇〇円)
- 町内外の企業・篤志家からの募金額 二、六二七、五〇〇円
- 募金総額 四、九四三、九四四円

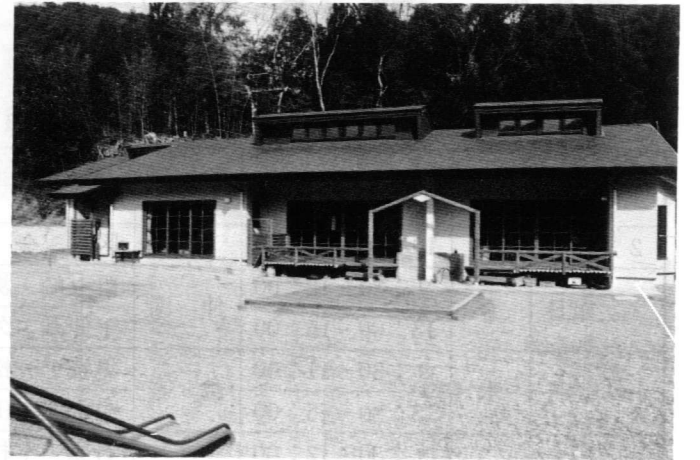
町県民税 国保税 の申告が始まります

今年も税の申告時期になりました。町では、申告の受付を別表のとおり行いますのでお知らせいたします。

昭和61年度町県民税申告相談受付日程表

月 日	曜日	時 間	申 告 相 談 該 当		場 所
			区 名	組 合 名	
2月12日	水	10:00~12:00	下渡川	区 全 域	下渡川公民館
14日	金	9:30~12:00	仲 深	野々崎・深谷	仲 深 公 民 館
		13:00~15:00		下仲瀬・久居原・下水流	
15日	木	9:30~11:00	越 表	児洗・一松露	児 洗 集 会 所
		13:30~15:00		中水流・田口・八ツ山	
17日	月	9:30~12:00	坪 谷	石原・本村	農協坪谷支所
		13:00~15:00		赤井笠・上ノ原	
18日	火	9:30~12:00	坪 谷	仲崎・多武ノ木・瀬平	一谷原集会所
		13:00~15:00		一谷原・一谷川崎	
19日	水	9:30~12:00	田 野	区 全 域	田 野 公 民 館
20日	木	9:30~15:00	迫野内	東下・東上・西谷	迫野内公民館
21日	金	9:30~11:00		地内・鹿瀬	
24日	月	9:30~12:00	小野田	区 全 域	八重原公民館
		13:00~15:00		大 谷	
25日	火	9:30~15:00	小野田	小野田1・2	役 場 講 堂
26日	水	9:00~16:00		又下1.2・中・上・住宅	
27日	木	9:00~16:00	町内全域確定申告義務者		
28日	金	9:30~12:00	福 瀬	出 口	仲野原(3)公民館
		13:00~15:00		仲野原1.2.3	
3月3日	月	9:30~12:00	福 瀬	上村1.2.3	福 瀬 公 民 館
		13:00~15:00		下村・鳥川	
4日	火	9:30~12:00	福 瀬	広 瀬	広瀬生活改善センター
		13:00~15:00		日田尾・うとぎ	
5日	水	9:30~12:00	鶴野内	中山・大工野・おもだか	大工野地区集落センター
6日	木	9:30~12:00		前田・中水流・下村・山内	
7日	金	9:30~12:00	羽 坂	小長野・深瀬・日ヶ道・樋田	羽坂生活改善センター
		13:00~15:00		硯野・羽坂・沖水流・井尻	
10日	日	9:30~12:00	寺 迫	中尾・吉ム田・長崎	庭 田 公 民 館
		13:00~15:00		庭 田	
11日	火	9:30~12:00	寺 迫	山ノ口・落鹿	寺 迫 公 民 館
		13:00~15:00		寺 迫	

坪谷保育所完成



坪谷へき地保育所(園児数34名)の建物が、近代的な建物に生まれかわりました。

坪谷へき地保育所は、昭和四十二年七月に坪谷公民館の施設を転用し開設したものです。施設も昭和三十四年に建てられたもので老朽化が激しく、また、土台は白アリの被害を受け補修を続けてきましたが、その補修も限界に達してきたため、安全面からも早急な改築が望まれていました。

町では、国の補助九百三十万円、県の補助四百六十五万一千円を受け、総事業費二千七百五万円を昭和六十年九月から改築を進めてきたものです。

新しい保育所は、従来の保育所より約二百メートル東側に建てられ、敷地面積九百十三平方メートル、建物面積は二百三十平方メートルで、保育室、遊戯室、午睡コーナー、事務室をそれぞれ備えた施設となっています。

昨年十二月に移った園児たちも、真新しい香りのする園舎で息をはずませながら元気づく、はしゃいでいました。

もうすぐ

一年生



町教育委員会が昭和六十年十二月一日現在で調査した、昭和六十一年度新入学予定児(昭和五十四年四月二日、昭和五十五年四月一日生)は次のとおりです。

なお、新入学予定児で名前が掲載されていない幼児については、直接教育委員会に申し出て下さい。()は保護者名。

- 〔東郷小学校〕(敬称略)
- 小野田区 橋口孝次(保) 谷口英義(俊廣) 成實裕二(朝吉) 高森洋(牧夫) 黒木一平(正) 山崎広徳(時男) 畝原由紀子(芳實) 谷口愛(辰巳) 都甲幸佳(幸之) 木村陽子(孝太郎) 畝原麻里(修身) 植野由紀(政秀) 鶴野内区 鈴野貴教(浅夫) 黒木祐介(孝利) 内田美喜(和彦) 宮田雪末(幸男) 佐藤愛美(国光) 森田愛(正春)
- 追野内区 黒木均志(悟) 松尾一臣(昇) 春木賢一郎
- (重行) 原田幸一(富士美) 池田謙(初男) 佐藤良子(富士男) 黒木梓(忠雄) 黒木蘭子(富義) 黒木久美(勝) 池田久美子(平美)
- 田野区 黒田友介(静夫) 那須美羽子(楠男) 田中保代(保雄)
- 羽坂区 福原正人(健一) 寺原昌伸(佳宏) 山田誠(豊) 黒木光博(ユキエ) 寺田美穂(勇) 三原麻衣子(廣美) 川野みどり(多賀男)
- 仲深区 橋口晴美(信行) 甲斐美鈴(和明)
- 〔福瀬小学校〕
- 福瀬区 直野祐介(光男) 関野文昭(勝義) 直野祐樹(雄二) 高木敏行(泰茂) 川越富士喜(和夫) 松田芳彦(梅雄) 谷口光幸(峰久) 高尾九州男(範人) 川口健吾(房則) 黒木悟(忠明) 塩月充(伸司) 直野かおり(幸信) 小林智佳(健司) 平野亮子(松嗣) 新名しお
- 〔寺迫小学校〕
- 寺迫区 海野秋(誓生) 高野昌喜(今朝男) 黒木隆(稔) 三原真一(勝美) 三原智行(和利) 齊野平良史(黒木良子) 黒木満男(與吉) 海野真理子(和夫) 田代千里(久司) 橋口真奈美(啓二) 黒木亜希子(廣道)
- 植野文恵(繁) 山本由香利(憲昭) 黒木幾美(博文) 黒木理沙(重行) 新保富美子(吉富)
- 〔坪谷小学校〕
- 仲深区 中野裕美(文明)
- 坪谷区 矢野かすみ(統) 寺原高志(正) 黒木利也(利夫) 広島大作・広島のぞみ(美代子) 矢野陽一(紘) 稲田真二(守) 三浦優生(定) 松岡あかり(二美) 黒木華代(淳子)
- 〔越表小学校〕
- 越表区 後藤沙矢香(喜一) 黒木順子(忠男)
- 〔昭夫〕 塩月千賀(栄久) 藤本由香理(純一) 川越真子(昇) 黒木裕美(富雄) 塩月美希(三男)

水田野菜の春出し栽培

レタスなどを試作

本町は、水田の高度利用をめざして基盤整備を進めています。昭和六十年年度末で約四〇%にあたる百六十五haの整備が完了する見込みです。

基盤整備が完了しても、米単作では土地生産性があがらず、投資効果も低いということで、麦作や野菜等の換金作物の導入を進めています。現実的にはなかなか思うような作物の導入

ができていません。

特に、市場出荷野菜の栽培面積は、ラッキョ、ししとう、ピーマン、しょうがを中心に約五haにすぎない状況です。

昨年調査した基盤整備実施水田の冬期間の利用状況は、飼料等作物の栽培されているものが二〇%、寒すぎされているものが二〇%で、残り六〇%には稲株が残っており、利用されていませんでした。

夏場の転作野菜として町ではししとう、ピーマン、キュウリしょうがを重点作物として推進していますが、裏作野菜については地域新品目開発促進事業で試作に取り組んでいます。

つまり、本町に適した新品目野菜を選択して一般農家への普及を図ろうというものです。

対象作物は、水田野菜の春出し栽培ということでサニーレタス、水田ゴボウ、ニンニク、トネル大根の四品目です。

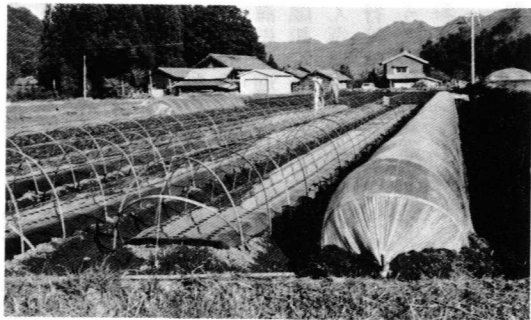
昭和五十九年度に、坪谷と仲深の四戸の農家に委託して試作を始めましたが、今年から羽坂でも始め、現在六戸で試作を行っています。

サニーレタスは、品種がレッ

裏作野菜として 四品目を試作

夏場の転作野菜として町ではししとう、ピーマン、キュウリしょうがを重点作物として推進していますが、裏作野菜については地域新品目開発促進事業で試作に取り組んでいます。

レタスのモデル展示圃



ドファイヤーで一戸二アール。九月三十日に播種、緑マルチを使用し、十月二十五日に定植、十二月中旬よりトネルをかけました。一月に入って出荷を始めましたが、年末に出荷した分は一個で五十円から百三十円の市場価格でした。

水田ゴボウは、品種が山田早生で一戸二アールを二回播き。緑マルチを使用し、一穴に二粒ずつを十一月二十七日と十二月七日に播種し、それぞれトネルをかけた。四月出荷をめざして現在順調に生育中です。

ニンニクは、品種が荏州早生で一アール。緑マルチを使って、十

月一日に播種しました。四月下旬から出荷予定ですが、一部をマルチなし、トネル被覆で業ニンニクとして出荷してみることにしています。

トネル大根は、品種はYR天春で一戸二アールの二回播き。二月十日と二十日に播種し、同時にトネルをかけ五月出荷をめざすことにしています。

試作面積は66アール

試作は、六戸の農家で合せて六十六アールですが、これとは別に

尾鈴短歌会

一月詠草

- 南天を活躍する手元に一粒の赤き実こぼる暮も間近し (寺原初子)
- 憂き多かりし去年断切りて新玉の初日に向う今朝の静けさ (植田イセ)
- 承らへて寅年迎え楽しさよ十二年振りなつかし年か (倉田静雄)
- 暮近く外孫生れ吾は行く夫一人の寅年迎う(海野スナ子)
- 健やかに老いの日過ごす姑見つつわが老先をふと危ぶめり (高山俊美)
- 下刈りの作業に寄りて昼餉せし杉も老い来ぬ久に来し山 (若藤延世)
- 新割れば木屑が中におち曲る木虫はにぶき命保てり (矢野文雄)
- 引止めて酒を奨めし君なりき尾鈴裾静かに眠る (荒砂金義)
- ねこやなぎ老谷川のだてぎしに白ねこめぶき春を告げおり (都甲鶴男)
- 目覚むれど温もう残すわが寝床果鳥のごとく離れられずも (徳森千代美)
- 朝々の冷の厳しきわが町に九時ともなれば遅き陽の射す (本多茂雄)

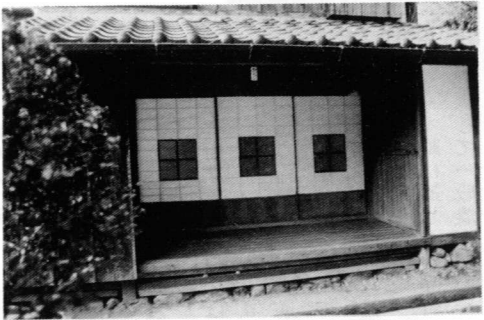
続・牧水と坪谷 ⑦

塩月儀市

そんな馬鹿な名があるものでない。構はないから祖父さんの留守にまへてしまへといふので二人して考えた末、繁といふ名にして役場にも届けてしまった。彼の頑固な祖父が定めし怒った事であらうと思うが、取消されなかつた所を見ると或は唯だ笑つて済ましたのかも知れない。姉たちが斯ういふ名を考えたのは当時の絵入郵便報知新聞(今の報知新聞の前身かと思う)の続きものに出て来る女傑に自ら男装してまで学問をした葉山繁といふ非常な勉強家があつたので、葉山と若山と似ても居りそれにあやかる様に斯う名づけたのださうである。不幸にしてこの繁は稀有なる怠惰者として生ひ育つことになつてしまつた。

三人の姉

第一の姉とは私は二十歳近くも歳が違つている。彼女の嫁いだのは私の二つか三つの時、その時向うの家から持つて来た鮮魚の、鯛や鱈などでもあつたか、紅い青いの美しさに雀躍して歓んだ事を覚えて居る。彼女の嫁つたときは、尾鈴山の



牧水は明治18年8月24日、朝にこの縁側で産声をあげた。

向側の都農という海岸町の米穀や肥料などを商つている家で、其処から私の家に来るには尾鈴連峰の一つである七曲峠というのを越して来るのが近かつた。或時、義兄がその峠を越えて来た。そして土産に永砂糖を持つた。

それから頻りにその峠を越えて来る義兄や姉が待たれて、彼等はまた来ることにその白いあまい石を持つて来た。一二年も私はそれで釣られていたと思う。其位私の村では氷砂糖が珍しいものであつたのだ。姉の家は海岸に近かつたので山生れの私には其処に行くことをほんとにどんなに喜んだものであつたらう。行けばまた其処の一族が奪ひ合ふ様にして私を可愛がつて呉れ

た。其処には私の村にない西瓜が出来、甘藷が無数に出来た。磯に行けば大きな海があり、魚が釣れ、海老がとれ、思うままに貝が拾はれた。姉の家は土地で相応に暮している商家であるが、不幸にも子がない。私が中学に出る頃になると全く子の様にして愛して呉れた。いろ／＼思い出して来るとこの姉にも随分私は反っている。(つづく)

成人祝賀ロードレース大会

三百人が参加

成人祝賀ロードレース大会が一月十五日の成人の日に町総合グラウンドで開催されました。大会は、九時からの開会行事に引き続き九時三十分から競技が行われました。

それぞれの種目に参加し記録に挑戦して行きました。最年少出場の本多悠馬くん(小野田4歳)は、二千メートルを二十七分で見事完走し、大粒の汗を流していました。

- 種目毎の結果は次のとおりです。(敬称略)
〔団体戦の部〕
一位 寺迫 (45分25秒)
二位 小野田 (52分25秒)
三位 福瀬 (54分59秒)
〔ファミリージョギング〕
三* (宣言タイムとの差を競うもの)
一位 黒木康夫 4秒



- 男子
〔二千メートル〕
▽小学生 糸平格 7分26秒
▽四十歳代 黒木幸男 7分55秒
▽五十歳以上 寺原寿夫 12分37秒
〔三千メートル〕
▽中学生 海野宏明 10分42秒
▽二十九歳以下 黒木武 11分09秒
▽三十歳代 赤松義春 11分25秒
▽四十歳代 橋口克義 11分02秒
〔五千メートル〕
安藤光春 23分51秒
女子
〔二千メートル〕
▽小学生 畝原幸子 8分23秒
▽中学生 杉田摩衣 8分02秒
▽一般 伊東美代子 8分10秒

健康余話

癌・脳卒中・心臓病

東郷病院長 河野幹彦

昨年から、インフルエンザが大流行していますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今月から町報に「健康余話」と題して、毎回とりとめもなく、書かせていただくことになりました。東郷町では、毎年、成人病健診が各地域で、その二次健診を町立病院と保健所で実施しています。その中で特に多い、「高血圧症」「糖尿病」「高脂血症(コレステロール)などの脂肪分が高い状態」「不整脈」などについて、次回より書こうと思います。今回は、日本の三大死因である「癌」「脳血管疾患(脳卒中)」「心臓病」の危険因子(病気になるやすい状態)について書きます。

(1)癌

①胃癌：穀類や甘い物の大食、塩魚・干魚・塩から漬物などの高塩分食品の多量摂取(とくに一度に多食すること)、魚や肉のこげた部分やくん製の多量摂取、動物性蛋白質・牛乳・乳製品の摂取の少ないこと、タバコ



(2)脳卒中

脳卒中には大きく分けて、脳出血(脳の血管が破れる)と脳硬塞(脳の血管がつまる)の二つがあります。年令(高令)、性別(男性)、栄養状態(低蛋白、高コレステロール)又は低コレステロール、嗜好(高塩食)、生活様式(トイレ、風呂などが寒い)、気温、高血圧(脳出血が多い)動脈硬化(脳硬塞)などが危険因子です。

(3)心臓病(とくに虚血性心疾患)

虚血性心疾患とは、心臓を養っている冠(状)動脈の血液の循環が悪くなつている状態です。病氣としては、狭心症・心筋硬塞などがあります。危険因子としては、高脂血症、高血圧、性別(男性)高血圧、年令(高令)、タバコ、糖尿病、肥満、行動型の性格、ストレス、運動不足、アルコール多飲(三合以上)、高脂血症、経口避妊薬、HDLコレステロール(動脈硬化を防ぐ良いコレステロール)が低いなどです。

以上が、三大死因の危険因子です。要約すれば、
①食事はゆつくり、野菜・蛋白を十分に塩分、甘い物、動物性脂肪はひかえ目に、
②タバコ、アルコールはほとんど、
③体をよく動かし、肥満にならない。
④イライラせず、ストレスを解消、ということが、三つの病気の予防法と言えます。

次回「高血圧症」について書きます。尚、東郷町立病院では、胃透視、胃カメラなども、多数行つております。又、その他の検査もほとんど実施可能です。ぜひご利用願います。

川ガニの採捕は許可が必要です



漁業組合が、漁業権を行使するためには、増殖計画に基づき、義務放流を実施していますが、河川漁種の中には放流の伴わない漁種については、国民すべてが自由に採捕できるかに考えられていますが、これは法人・個人を問わず禁止されており、県の

許可が必要となります。したがって、昭和六十一年以降の川ガニ採捕については、東郷町行政区域内は漁業組合が知事の許可を受取るよう申請します。川ガニ採捕を希望する組合員は、三月十日までに代議員に印かん持参のうえ、必要事項を申出て、理事を経て組合へ申請・総会決議事項として、統数・ケ数・大きさを定め無許可による採捕は県調整規程により罰則を受けることとなりますので、必ず希望する向は申出でを怠らないようお知らせいたします。

耳川漁業協同組合
このことについてのお問い合わせは、各地区の漁業組合の理事、または、畝原昭則理事長(☎69-12541)まで。

目標を達成

歳末助け合い運動

昨年末に「わからあう幸せ」のスローガンのもとに展開されました。「赤い羽根共同募金」

「歳末たすけあい運動」におきましては、町民のみならず、皆様もご協力により、目標額を上回る実績を収めることができました。厚くお礼を申し上げます。

- 募金実績は次のとおりです。
▽赤い羽根共同募金
目標額 一、一〇九、七四六円
募金額 一、二五八、九一八円
▽歳末たすけあい募金
募金額 五〇四、七八七円
東郷町社会福祉協議会



農業委員会委員

選挙人名簿の縦覧

農業委員会委員選挙人名簿は毎年一月一日現在で調整されることになっています。

町選挙管理委員会では、次の日程で縦覧に供することになっています。縦覧期間中に異議申立がなかった場合は、三月三十一日確定されます。

縦覧期間

二月二十三日～三月九日

縦覧場所

町選挙管理委員会事務局

(役場総務課内)

行政相談

国の仕事をはじめ、国鉄・新電々などの仕事、県や町の仕事に対する苦情や要望など相談に応じています。当日以外は自宅

で受付けています。どんなことでも遠慮なくご相談ください。

▽日時 2月18日 9時～15時

▽場所 老人福祉館

東郷町仲深

行政相談委員 山口俊一

心配ごと相談

次のとおり心配ごと相談が実施されます。心配ごと・悩みごとなどどんなことでも遠慮なくご相談ください。

なお、各地区の相談員(民生委員)による地区相談も、毎週火曜日にそれぞれの相談員宅で開設していますので併せてご利用ください。

▽日時 2月18日 9時～15時

▽場所 老人福祉館

昭和61年度農村

青少年先進地農家

留学研修生を募集

次のとおり昭和六十一年度の農家留学生を募集しています。

(一)、資格、おおむね三十歳未満の男女で現に農業に従事し、または従事しようとする者で心身ともに健全な者

(二)、研修場所 国内の先進地の優れた農家、農業生産法人

(三)、研修期間 原則として三ヶ月以上

(四)、申込み締切、昭和六十一年二月十五日まで

(五)、申込み先及び問い合わせ先 東郷町役場農林課振興係まで

☎六九一二一一

§ 二月の主な行事予定 §

4日

○立志式 東郷中 14時

9日

○東郷町PTA研究大会

坪谷小 9時

15日

○一般健康相談

老人福祉館 9時30分

18日

○乳児健康相談

中央公民館 9時30分

○18ヶ月検診

中央公民館 13時30分

27日

○母親学級

中央公民館 8時30分

善意のともしび

忌明けとして、つぎのかたから町社会福祉協議会へ社会福祉のための善意がよせられました。厚くお礼申し上げます。

▼(カズさん・78歳ご死去)

▼福瀬の直野ミツルさんから(馨さん・72歳ご死去)

▼福瀬の高木一教さんから(セイさん・83歳ご死去)

▼木城町の黒木善美さんから(甲斐巖さん・80歳ご死去)

▼小野田の小林貞義さんから(チヨさん・84歳ご死去)

▼小野田の寺原元治さんから(政行さん・89歳ご死去)

▼坪谷の稲田真人さんから(シンさん・87歳ご死去)

▼小野田の黒木博さんから(アサさん・85歳ご死去)

▼越表の石田数夫さんから(タミさん・73歳ご死去)

▼迫野内の黒木学さんから(コイさん・91歳ご死去)

▼小野田の那須節子さんから(ミツさん・95歳ご死去)

▼仲深の田口チサさんから(粘さん・83歳ご死去)

まちのうごき

人口 6,379人(+2)
男 3,074人(+3)
女 3,305人(-1)
世帯 1,765戸(+1)
61年1月1日現在
()は対前月比

戸籍だより

十二月届出分

出生おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	住所
草留麻衣	幸典	鶴野内
三浦慎一郎	勝	仲深
海野紘史	修一	小野田

冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
直野 馨	72	福瀬
山本 カズ	78	寺迫
高木 セイ	83	福瀬
石田 タミ	73	越表
山本 勘助	84	鶴野内
日高 トシ	78	仲深
甲斐 巖	80	鶴野内
海野 正一	34	越表
稲田 シン	87	坪谷

今月の納税等

固定資産税四期

国民健康保険税